

草の根 最前線

【NPO法人】教育支援協会東海(名古屋市西区)

名古屋市昭和区の市高齢者就業支援センターに昨年十月、市内十三の中学校の生徒会役員六十一人が集まった。防災、いじめ撲滅、会員制交流サイト(SNS)のリテラシー。身近な問題や学校が抱える課題をテーマに解決策を話し合い、実現できそうな案は学校に持ち帰って実践する。次世代の地域社会のリーダー育成を目指す「名古屋市生徒会サミット」。教育支援協会東海が企画した。教育支援NPOとし

「地域で子育て」目指す



昨年10月にあった名古屋市生徒会サミットでは市内13の中学校の生徒会役員が参加し、話し合った。＝名古屋市昭和区の市高齢者就業支援センター

て、市から委託を受けた生活保護世帯やひとり親家庭の中学生を対象にした学習支援事業

にも取り組む。専務理事の西尾真由美さん(五七)は「日本の子どもに貢献できるNPOでありたい」との思いで取り組んでいる」

と話す。学習支援事業では週に二度、大学生や大学院生が中学生を指導。学校の宿題を教え、テスト対策も実施する。「勉強すれば点数が上がる」と体感することで、生徒は「やればできるんだ」と自信が育てる場所が家庭と学校だけという考え方の人も珍しくなくなってきたという。

【メモ】1999年に発足した「教育支援協会」(東京)の愛知支部を前身とし、2008年に独立。子どもたちの教育支援に取り組み、会員は学習塾経営者や元教員ら10人。☎NPO教育支援協会東海事務局＝052(505)4900

それは決して地域力がなくなってきたからではない。「きっかけが少ないだけで、地域で子どもを教育する力はまだまだある。きっかけをつくりだせるNPOがあれば」

地域で子どもを見守り、育てる社会を目指す。(朝国聡吾)

結び 郷音